

逗子市総合計画

進行管理表

第 4 節

柱	第4節 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち							
めざすべきまちの姿	わたしたちは、逗子が持つ豊かな自然環境やコミュニティの質の高いまちを未来に継承していきます。 そのため、土地利用の基本方針を尊重し、社会ニーズを的確にとらえ、長期的な視点に立った都市のデザインを描いて、計画的なまちづくりを進め、誰もが安全で安心して快適に暮らせるまちをめざします。							
目標	安全で安心な、快適な暮らしを支えるまちをめざす市の取り組みに満足している人の割合が10ポイント増加している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未実施	57.7%	60.0%(59.4%)	61.8%(61.1%)	(62.8%)	(64.5%)	(66.1%)	(67.7%)	67.7%
進捗状況評価								
A：順調である								

取り組みの方向	1 良好な住環境の形成により、くつろぎが生まれるまち
土地利用の基本方針にうたわれた理念の実現を図るため、逗子が潜在的に持つ優れた価値と原風景を再認識し、大局的長期的視点に立ち、住む人にも訪れる人にも優しく、にぎわいとくつろぎ、そして安らぎが生まれる人間らしいスケールのまちをめざします。 基本的に低層のまち並みの形成を基盤とする中で、地域ごとの整備方針に基づき、地域のまちづくりを進めます。	

具体的施策	① 計画的なまちづくりの推進							
KPI	市を取り巻く環境の変化による条例運用上の課題等に早急に対応するため、3年ごとに土地利用に係る3条例等の見直しを行う。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
令和2年8月 まちづくり条例施行 規則の改正	令和6年3月 まちづくり条例 施行規則の改正	まちづくり 条例改正の 検討を行っ た	まちづくり条 例改正案につ いて審議会に 諮問した					3年ごとに見直 す
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
都市計画マスタープランとの整合性を図るため、開発規制等の見直しを行い、改正案をまちづくり審議会に諮ることができる。								
今後の対応								
まちづくり条例施行規則の一部改正に関わる市民説明会を実施し、改正を目指す。								

主 な 取 り 組 み

取り組み①	計画的なまちづくり推進事業の推進				
説明	・まちづくり条例を運用するとともに、市民の主体的なまちづくりの取り組みを支援し、計画的なまちづくりを推進する。				
2025年度 実施内容	まちづくり条例に基づく開発行為等の届出（4件） まちづくり審議会開催（5回）				
【参考】予算事業名	計画的なまちづくり推進事業	【参考】実績額	1,857,427円	担当課	まちづくり景観課
取り組み②	コンパクト・プラス・ネットワーク型都市構造の推進				
説明	・立地適正化計画に基づき適正な土地利用誘導を行うとともに、公共交通ネットワークの維持向上に取り組む。				
2025年度 実施内容	・都市計画事業の円滑化を推進するための基礎資料となる都市計画基本図について、都市計画基礎調査の実施に先立ち、最新データに更新した。 ・第8回線引き見直しに係る都市計画変更について、令和7年11月11日付で告示を行った。 ・三浦半島中央道路に関する都市計画変更について、市民説明会、都市計画素案の閲覧、神奈川県主催による公聴会を実施した。				
【参考】予算事業名	都市計画策定事業	【参考】実績額	14,041,814円	担当課	環境都市課

具体的施策	② 空き家対策と利活用							
KPI	空き家バンク等の施策誘導を通して、解消された空き家が中期実施計画期間中累計で35件になっている。							
2019.4～2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
19件	9 件	10件	19件					35件
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
空き家バンクの運営に留まらず、所有者へのアプローチとして空き家アドバイザー派遣制度を活用し、利活用を提案することで、空き家を市場流通に乗せることができた。相続人不存在の空き家解消のため相続財産清算人選定の申し立てを裁判所に行った。								
今後の対応								
空き家バンク、空き家アドバイザー派遣制度を運営し、空き家の利活用の啓発を行う。 相続財産清算人の申し立ての事務手続きマニュアル化や専任された清算人の対応など、今後も増加が見込まれる本制度のノウハウの蓄積を図る。								

主 な 取 り 組 み

取り組み①	空き家解消事業の推進							
説明	・ 地域住民や関係団体と連携し、空き家の抑制・適正管理を図る。 ・ 所有者及び利用希望者に対し売却や利活用に向けた提案等を行い、流通・利活用を促進する。							
2025年度 実施内容	空き家バンクの運営 空き家アドバイザー派遣制度の実施 相続財産清算人の選任申立							
【参考】予算事業名	計画的なまちづくり推進事業				【参考】実績額	1,857,427円	担当課	まちづくり景観課

取り組みの方向	2 災害に強く、犯罪のない安全なまち
高齢化が進む住宅都市として、「自らの命は自ら守る。皆のまちは皆で守る。」という意識の浸透、自主防災組織の充実及び避難行動要支援者に対する地域での助け合いの取り組み等を広げ、市民自らの防災力の向上を図るとともに、情報伝達体制の整備や津波対策の充実、河川の改修等を進め、地震や大雨等の自然災害に強いまちづくり、狭あい道路の整備や消防力の充実など都市災害を防ぐまちづくりを進めます。 また、市民一人ひとりの防犯意識の向上を図り、地域の安全は地域で守るという意識を高め、防犯環境に配慮した環境整備を図り、誰もが安心して暮らすことができる、犯罪の起きにくいまちづくりをめざします。	

具体的施策	① 自主防災組織育成の推進
-------	---------------

KPI	防災ハンドブックを更新し、各種訓練、イベント等で配布し、世帯数の80%以上に配布している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未更新	未更新	防災ハンドブックの更新内容を検討した	防災ハンドブックの更新をコンサルティングを含めた業務委託で作成する計画を立てた。					世帯数80%以上に配布

進捗状況評価	
C：順調であるとみなせない	
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）	
・各種ハザードマップの内容も含めて防災ハンドブックを作成する予定だが、本市浸水想定区域図の更新に伴い、新たな土砂災害等ハザードマップを作成し、盛り込む予定である。 ・令和7年度土砂災害ハザードマップを更新した。 ・本市の特色や能登半島地震の課題を踏まえた内容にすることを計画している。	
今後の対応	
・令和8年度では防災ハンドブック、地域防災計画、受援計画の作成をコンサルを入れて業務委託する流れで計画したが、地域防災計画等を優先し進めていくことになった。 ・令和9年度改めて防災ハンドブックの作成に取り掛かる。 具体的な内容として、自主防災組織の災害時活動マニュアル、災害の最新ガイドライン及びハザードマップ等の反映を盛り込み、令和9年度に作成、令和10年度配付を予定している。	

主な取り組み					
取り組み①	自主防災組織の育成、加入率向上の支援				
説明	・様々な主体の連携を図りながら、総合防災訓練、避難所運営訓練、地域住民を対象とした防災教室（初期消火、応急手当、避難訓練等）を実施する。 ・防災ハンドブック等の作成、配布を行う。 ・自主防災組織の育成、加入率向上のほか、自主防災活動を支援するなど自主防災組織の活性化に取り組む。				
2025年度 実施内容	防災教室の実施（76回） 防災訓練の実施（逗子地区11/15、沼間地区11/8、池子地区11/9、久木地区11/30、小坪地区12/6） 消防・防災フェア2025in逗子を第一運動公園で実施（R8.3/1、来場者数約2,000人） 防災資機材等整備費補助金交付（34団体） 避難所運営委員会補助金交付（5団体）				
【参考】予算事業名	自主防災組織育成事業	【参考】実績額	2,952,000円	担当課	防災安全課

具体的施策		② 災害対策に係る整備の充実						
KPI	津波避難ビル（民間施設）の指定数が21施設以上になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
17施設	17施設	17施設	16施設					21施設以上
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・津波避難ビルに指定できる新たな開発行為が無く、また、既存の対象施設においても、指定同意が得られなかった。 ・指定済みの津波避難ビルに対して、対面にて協定内容の確認を行った。 ・昨今は夜間等、管理者が建物外に居たときに対応できない等の理由から、津波避難ビル普及に対し消極的な意見が多いことが現状である。 ・令和7年度に、1施設（サングレイス逗子）が津波避難ビル解除となった。								
今後の対応								
・引き続き、津波避難ビル指定の必要性等について、理解を求めていく。 ・指定済みビルが指定解除とならないよう、運用上の課題等について対面でのヒアリングを定期的に行っていく。								

主な取り組み

取り組み①	災害対策用資機材等の計画的な整備							
説明	・予想される災害の的確な情報把握と市民に対して確実な情報提供ができるような整備を推進するとともに、市民に対し情報の受信方法の周知を行う。 ・予想される災害に備え備蓄資材等の整備に努める。 ・津波災害に備え、津波避難路などの整備を進める。							
2025年度 実施内容	備蓄用品（携帯トイレ、食料、飲料水、粉ミルク、毛布ほか）及び防災倉庫の購入							
【参考】予算事業名	災害対策事業				【参考】実績額	63,116,418円	担当課	防災安全課
取り組み②	避難施設整備事業の推進							
説明	・大規模地震等による津波災害から市民等の生命の安全を確保するとともに、津波に対する市民等の不安を解消するため、津波避難施設整備を図る。							
2025年度 実施内容	津波避難施設の整備なし（津波避難ビルの指定なし）							
【参考】予算事業名	災害対策事業				【参考】実績額	63,116,418円	担当課	防災安全課

具体的施策		③ 避難行動要支援者への支援の確立						
KPI	個別避難計画の作成率が35%以上になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
10.4%	12.50%	12.35%	14.28%					35%以上
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・現状は、自主防災組織役員が無報酬で計画を作成している。 ・支援（作成）者となる福祉専門職、民生委員、自主防災組織らの心理的負担が大きい。 ・市が主体となり作成に取り組むべき優先度の高い避難行動要支援者（Sランク）を、災害リスクと心身の状況を考察し決定した。 ・個別避難計画の作成率は、作成に係る同意者数を計画作成済者で割ったものである。 （2023年度）同意者数:1,536件/作成済者数:192件 （2024年度）同意者数:1,627件/作成済者数:201件 （2025年度）同意者数:1,540件/作成済者数:220件								
今後の対応								
・継続して支援（作成）者となる福祉専門職等に理解・協力を求めていく。 ・Sランク者の作成における、福祉事業所等に対する業務委託料を令和8年度当初予算に計上した。								

主な取り組み

取り組み①	避難行動要支援者支援制度の普及・啓発の推進							
説明	・避難行動要支援者支援制度の普及・啓発を行う。 ・庁内関係所管の連携・情報共有による避難行動要支援者名簿の作成を行う。 ・避難行動要支援者名簿の情報が、もれなく随時更新される体制の整備を行う。 ・民生委員・児童委員や逗子市社会福祉協議会、地域包括支援センター、相談支援事業所等、福祉関係専門機関・団体への制度周知と、理解・協力を求める。 ・住民自治協議会及び自主防災組織等との協力体制を確立する。 ・平常時から築かれた近隣の関係性を避難行動要支援者への避難支援体制づくりに導く。 ・避難行動要支援者に必要な避難所の資機材の整備等を図る。							
2025年度 実施内容	・自治会及び自主防災組織91団体中、58団体に対して、避難行動要支援者名簿及びマップを配付し、避難支援体制の強化を図った。 ・関係部署と協議を行い、要支援者の優先順位について決定した。次年度に向け、個別避難計画の作成を具体的に進めるため、事務の運用等について調整を行った。							
【参考】予算事業名	災害対策事業				【参考】実績額	63,116,418円	担当課	防災安全課

具体的施策	④ 消防力の充実
-------	----------

KPI	防災拠点としての機能強化を図るため、老朽化した分団詰所3箇所の整備が進められている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
老朽化が著しい	・第3分団の設計実施 ・第5分団の基本構想案策定 ・第9分団の移転用地の検討	・第3分団の解体工事実施 ・第5分団の基本的計画の策定 ・第9分団の移転用地の検討	・第3分団の建築工事が完了し、運用を開始している。 ・第5分団の基本実施設計の策定 ・第9分団の移転用地の検討					整備が進められている

進捗状況評価
B：概ね順調であるとみなせる

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）

第3分団詰所・・・令和7年度内までに建設・完成を目指していた第3分団詰所が完成した。

今後の対応

・第5分団詰所・・・北分署庁舎との合築で計画を進めており、令和8年度に設計業務を完了し、工事着手については令和14年度、工事完了が令和15年度予定となる。

・第7分団詰所・・・小坪分署庁舎との合築で計画を進めており、令和8年度に基本構想の策定を完了し、令和13年度までに工事完了を目指している。

・第9分団詰所・・・移転用地の検討が進められている。老朽化した施設の修繕を計画的に進めている。

主 な 取 り 組 み

取り組み①	消防車両の更新整備				
説明	・ 消防力の充実強化を図るため、消防自動車等を計画的に整備する。				
2025年度 実施内容	・ 消防ポンプ車(3.5 t)の購入(第3分団)				
【参考】予算事業名	車両整備事業	【参考】実績額	22,660,000円	担当課	消防総務課
取り組み②	消防水利の整備				
説明	・ 消防水利を適正に維持管理する。				
2025年度 実施内容	・ 老朽化した消火栓の補修を行った。 ・ 消火栓路面標示の塗装を行った。				
【参考】予算事業名	消防水利維持管理事業	【参考】実績額	1,537,083円	担当課	消防総務課
取り組み③	消防団の充実				
説明	・ 地域防災力の中核となる消防団の充実強化のため、老朽化した消防団詰所を計画的に整備する。				
2025年度 実施内容	・ 第3分団詰所の整備として、建築工事が完了した。 ・ 第5分団詰所の整備として、基本設計及び実施設計業務が開始された。 ・ 第9分団詰所の整備として、桜山長柄線計画延長との兼ね合いから、対応について今後検討となった。				
【参考】予算事業名	消防団詰所整備事業	【参考】実績額	160,210,600円	担当課	消防総務課
取り組み④	消防広域化の可能性の検討				
説明	・ 消防力の充実強化を図るため、消防の連携・協力の推進について検討する。				
2025年度 実施内容	・ 総務省消防庁が策定した「市町村の消防の広域化に関する基本指針」が、令和6年3月に一部改定され、消防広域化の期限が令和11年4月1日まで延長となったことを受け、実現に向け、引き続き、検討していく。				
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—	担当課	消防総務課

具体的施策	⑤ 建築物等の耐震化の推進							
KPI	耐震改修工事の補助金により耐震化された住宅が中期実施計画期間中累計35件になっている。							
2015.4～2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
37件	1 件	3 件	7件					35件
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
木造住宅の補助制度の対象を居住の用に供するものから、貸家住宅まで拡大した。								
今後の対応								
訪問型の耐震セミナーに加えて、チラシ作成等により、制度の周知啓発を図る。								

主な取り組み

取り組み①	建築物等の耐震化の推進							
説明	・耐震性の劣る建築物を主な対象とし、その所有者・管理者等に耐震診断及び耐震改修の促進について、普及・啓発を図り、必要に応じて耐震診断や耐震改修の補助、意識啓発のための情報提供を行う。 ・耐震診断・耐震補強工事の補助金を交付することにより、木造住宅の耐震化を推進する。 ・危険ブロック塀除去の補助金を交付することにより、避難路の安全確保を推進する。							
2025年度 実施内容	耐震セミナーの開催、耐震診断や耐震改修工事、危険ブロック塀除去工事に係る費用の補助							
【参考】予算事業名	震前震後対策事業				【参考】実績額	3,473,508円	担当課	まちづくり景観課

具体的施策	⑥ 浸水対策の推進							
KPI	2025年度末までに、田越川準用河川浸水想定区域図及び内水浸水想定区域図を作成し、浸水被害が予想されるエリアの周知を行う。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未完成	作成中	作成完了	区域図の周知					区域図を作成 エリアを周知
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
令和6年度中に区域図を作成することができた。令和7年度には区域図をホームページで公表し、防災部局でハザードマップを作成し、周知を行った。								
今後の対応								
引き続き周知を行う。								

主な取り組み

取り組み①	田越川準用河川浸水想定区域図の作成・公表				
説明	・ 昨今の気象条件を踏まえた田越川準用河川の浸水想定区域図を設定し、公表する。				
2025年度 実施内容	令和7年度に区域図をホームページで公表し、防災部局でハザードマップを作成し、周知を行った。				
【参考】予算事業名	河川維持管理事業	【参考】実績額	7,627,194円	担当課	都市整備課
取り組み②	田越川準用河川の整備				
説明	・ 新たに設定する田越川準用河川浸水想定区域を基に、田越川準用河川の整備内容を検討する。また、新技術の研究を行うとともに、必要に応じて関係地権者と調整して事業を進めていく。				
2025年度 実施内容	令和6年度に設定した区域図を基に今後、河川整備計画を策定する予定。				
【参考】予算事業名	河川整備事業	【参考】実績額	—	担当課	都市整備課
取り組み③	田越川二級河川区間の河川改修の推進				
説明	・ 県に対し、継続的な河川改修整備の実施を要望する。				
2025年度 実施内容	神奈川県による田越川の河川改修は継続して行っている。				
【参考】予算事業名	河川維持管理事業	【参考】実績額	7,627,194円	担当課	都市整備課
取り組み④	内水浸水想定区域図の作成・公表				
説明	・ 2021年度に施行された流域治水関連法に伴う、想定最大降雨等による内水浸水想定区域図の作成・公表を2025年度までに行う。				
2025年度 実施内容	令和7年度に区域図をホームページで公表し、防災部局でハザードマップを作成し、周知を行った。				
【参考】予算事業名	管路建設費	【参考】実績額	129,866,412円	担当課	下水道課
取り組み⑤	雨水浸透施設等の設置				
説明	・ 新築等の際に宅内に降った雨水については、宅内で浸透させるように指導を行う。 ・ 開発基準に基づき、雨水浸透施設及び雨水貯留施設設置の指導を行う。				
2025年度 実施内容	排水設備等確認申請書における指導 257件 まちづくり条例の開発指導 6件				
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—	担当課	下水道課

具体的施策	⑦ 防災・消防・防犯分野の連携の推進							
KPI	各関係機関と連携を図り、刑法犯発生率が0.15％以下となっている。							
2021.12	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
0.19%	0.49%	0.47%	0.54%					0.15％以下
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・本市の刑法犯発生数は、2021年（112件）に比べ増加している。（2025年:296件） ・刑法犯発生率は認知件数を人口(毎年4月1日現在の推計人口)で割ったもので、人口が減少していることもあり2021年に比べ約2.6倍となっている。 ・全国、神奈川県ともに刑法犯発生数は、2021年に比べ増加している。 (全国) 568,104件→709,385件（2025年11月） (神奈川県) 33,252件→50,060件（2025年）								
今後の対応								
・継続して年金支給日に特殊詐欺防止周知活動に取り組む。 ・防災・防犯メールを活用し、防犯事案について周知する。 ・青色パトロールを月1回以上実施する。								

主な取り組み

取り組み①	各関係機関との連携強化							
説明	・安全で安心なまちづくりを進めるために、関係機関と連携を図り情報を共有する。							
2025年度 実施内容	・市内防犯関係機関と連携強化を図るべく、情報交換を行った。 ・年金支給日に特殊詐欺防止周知活動（ポケットティッシュ配布）を実施した。							
【参考】予算事業名	—				【参考】実績額	—	担当課	防災安全課

具体的施策	⑧ 犯罪のないまちづくりの推進							
KPI	防犯メール登録者数が21,000人以上となっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
15,450人	16,024人	16,139人	16,328人					21,000人以上
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・防災訓練などのイベント時や窓口対応などで、防災・防犯メールの登録方法等について周知している。 ・目標値と登録者数の乖離が広がる一方で、LINEによる行政情報取得者が増加している。								
今後の対応								
・引き続き、イベント時や窓口対応などにおいて、防災・防犯メールの登録方法等について周知する。								

主な取り組み

取り組み①	各関係機関との連携強化及び支援				
説明	・ 市民一人ひとりの防犯意識を高め、犯罪を回避するための行動の指針となる情報を提供する。				
2025年度 実施内容	・ 市内防犯関係機関と連携強化を図るべく、情報交換を行った。 ・ 毎月10日（防犯の日）に、防災・防犯メールにより注意喚起等を行い、意識啓発に取り組んだ。				
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—	担当課	防災安全課
取り組み②	安全・安心に係る情報提供				
説明	・ 各地域の防犯意識が高まり、より多くの市民により防犯・地域安全体制の強化が進められるよう、犯罪回避のための情報提供の推進、防犯情報の共有化、市民、市、警察、防犯協会等の団体との連携強化を支援する。 ・ 地域での防犯情報の共有化を図るため、防犯メール登録者数の増加に努める。				
2025年度 実施内容	・ 年金支給日に特殊詐欺防止周知活動を実施				
【参考】予算事業名	防犯対策事務費	【参考】実績額	416,000円	担当課	防災安全課
取り組み③	市道における適正な防犯灯の確保				
説明	・ 市が公共施設を設置する際、防犯アドバイザーにより、市道における防犯灯の設置など、あらゆる分野における防犯対策のアドバイスを行う。 * 被害対象の回避・強化（犯罪発生要因の除去、対象物の強化を図ること） * 接近の制御（犯罪企図者が被害対象者（物）に近づきにくくすること） * 監視性の確保（多くの人の目が自然に届く見通しを確保すること） * 領域性の確保（領域を明確にして部外者が侵入しにくい環境をつくること）				
2025年度 実施内容	・ 街路灯数4,702灯（令和8年3月31日現在） ・ 適正な街路灯維持管理のため、事業者に維持管理を委託				
【参考】予算事業名	街路灯維持管理事業	【参考】実績額	30,198,787円	担当課	防災安全課
取り組み④	防犯対策事業の推進				
説明	・ 防犯指導及び自主防犯活動の高揚を図ることを目的としている団体へ補助及び支援等をする。				
2025年度 実施内容	・ 逗子市防犯協会に対し補助金を交付 ・ 小坪交番連絡協議会に対し補助金交付				
【参考】予算事業名	防犯対策事務費	【参考】実績額	416,000円	担当課	防災安全課

取り組みの方向	3 歩行者と自転車を優先するまち
自動車交通がもたらす交通事故や交通公害、混雑などを解決するためには、環境負荷の低減を図り、自動車の過度な利用を抑制し、公共交通機関や歩行者、自転車の安全性や利便性、快適性を高める必要があります。 わたしたちは、歩行者も自転車も優先することができる社会をめざすことにより、豊かで快適、安全な、生活の質（クオリティ・オブ・ライフ）の高いまちづくりを実現します。	

具体的施策	① 歩行者と自転車を優先するまちの推進							
KPI	居住地域の現在のイメージで、次に掲げる項目の数値を達成する。 ・①「歩行者や車イスの人が安全に出歩けるまち」と回答する人の割合が10%以上になっている。 ・②「自転車を利用しやすいまち」と回答する人の割合が10%以上になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
①3.5%	①4.4%	①4.2%	①4.3%					①10%以上
②6.0%	②5.8%	②7.5%	②6.3%					②10%以上
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
シェアサイクルポートを積極的に設置をし、自転車を利用しやすい環境を整えつつあるが、歩行者・自転車の共存方法の具体的な方策が示せていない。								
今後の対応								
今後、地域公共交通計画を策定し、自家用車の移動に頼らないまちづくりを具体的に進めていく方策を検討する方針であるため、それらの検討と合わせて進めていく。								

主な取り組み

取り組み①	歩行者と自転車を優先するまち推進事業の推進							
説明	・様々な立場の方が安全で快適に利用できる交通環境をつくるため、市民参加・参画のもと、地域で交通問題に取り組む仕組みづくりを進める。 ・自動車利用の際、事故、公害、混雑を軽減するために、歩行者、自転車、自動車の棲み分け、共存のあり方を点検するなど、限られた道路空間を有効に活用する工夫と、それを実現する仕組みの検討を行う。 ・主要道路へ自転車走行位置を示す自転車誘導マーク設置の調整を行う。 ・自転車の正しい利用方法に関するキャンペーン、教室の開催など、周知、啓発に努めていく。 ・主に児童、高齢者を対象とした交通安全教育を進める。 ・駅周辺をはじめとした市内の交通環境をより円滑なものとするため、必要な調査等を行う。							
2025年度 実施内容	・歩行者と自転車のまちを考える会の主催で、「ツール・ド・逗子2025」（6月1日）、「逗子カーフリーデー2025」（9月23日）、「トモイク自転車教室」（3月21日）を実施した。 ・シェアサイクル実証実験（経済観光課にて令和元年度より開始）の専用駐輪場（ステーション）を2か所追加設置した。（合計39か所）							
【参考】予算事業名	—				【参考】実績額	—		
					担当課	環境都市課		

取り組み②	自家用車に頼らないまちづくりの推進				
説明	・自家用車に頼ることなく、誰でも気兼ねなくおでかけできる状態を構築し、それによって地域を持続可能とするため、地域・交通事業者・市等、関係者が一堂に会する場である地域公共交通の活性化及び再生に関する法律にもとづく法定協議会において、地域公共交通計画を策定し、計画に位置付けられた事業を実施する。 ・地域公共交通計画策定後も、地域公共交通に関する状況を関係者で定期的に共有し、施策の改善を図れる体制を構築する。				
2025年度 実施内容	・地域公共交通計画策定業務委託のため、プロポーザル実施し、事業者選定を行った。 ・公共交通の目指す姿を明確にするため、関係者等へのヒアリング・市民アンケート調査・モビリティデータの分析を行い、それぞれの結果をもとに、具体的な施策の方向性を検討した。				
【参考】予算事業名	公共交通拡充支援事業	【参考】実績額	16,248,720円	担当課	環境都市課
取り組み③	駐輪場の整備等				
説明	・民間事業者による駅周辺の開発の際には、十分な台数の駐輪場を設置するよう求めていくなど、民間事業者等と協働した駐輪環境の整備を進める。				
2025年度 実施内容	東逗子駅等の無料駐輪場の駐輪環境を改善するため、有料化に向けた駐車需要調査を実施し検討を進めた。				
【参考】予算事業名	公共駐車場維持管理事業	【参考】実績額	7,660,896円	担当課	環境都市課
【参考】予算事業名	自転車等駐車場維持管理事業	【参考】実績額	3,020,438円	担当課	環境都市課
取り組み④	自転車通行帯の明確化				
説明	・主要道路へ自転車走行位置を示す自転車誘導マークを設置する				
2025年度 実施内容	逗子市55号道路舗装工事と合わせて、自転車誘導マークを設置した。				
【参考】予算事業名	道路補修事業	【参考】実績額	63,874,057円	担当課	都市整備課
取り組み⑤	鉄道事業者との連携による通勤電車本数の維持				
説明	・市街地整備に関する必要な事務の一環として、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて、鉄道事業者へ要望活動を実施する。				
2025年度 実施内容	神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じ東日本旅客鉄道へ朝の通勤・通学時間帯の逗子駅始発上り電車の増発を依頼した。				
【参考】予算事業名	市街地整備事務費	【参考】実績額	27,519円	担当課	環境都市課
取り組み⑥	より快適な通勤環境整備への支援				
説明	・市民が快適に通勤できる環境整備を行う。				
2025年度 実施内容	神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて、「逗子駅始発上り電車の増発」について、鉄道事業者へ要望した。				
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—	担当課	企画課

取り組みの方向	4 都市機能の整った快適なまち
市民の安全で快適な都市生活を維持し、拡充を図るため、高齢化の急速な進展や多様化する社会ニーズに対応し、長期的な視点に立った都市機能の整備が必要です。 本市の財政状況や限られた土地の利活用の視点、高齢化等への配慮から施設の複合化や多機能化、バリアフリー化を図り、また、地震をはじめとした自然災害等を考慮した都市機能の再編・再整備を計画的に進めます。	

具体的施策		① 公共施設等の更新・統廃合・長寿命化の実施						
KPI	JR東逗子駅前用地活用に係る構想、計画のもと、2027年度末までに整備した施設が利用されている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
施設整備が実施されていない。	基本計画を策定した	基本設計を実施したが見直しが必要となった	事業費の圧縮に向けた事業の見直しの検討を行ったが、事業休止となった。					整備した施設が利用されている。
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・ 複合施設の機能の確保を基本としつつ、事業費の圧縮に向けた事業の見直しの検討を行った。 ・ 整備する複合施設諸室の一部見直しによる事業費の圧縮は一定程度見込まれるものの、物価及び資材の高騰等が続いている社会情勢や、そうした社会情勢の中で、老朽化の進む浄水管理センター再整備などの大型公共施設整備が見込まれる状況に鑑みて、当分の間、本事業を休止。								
今後の対応								
・ 休止中。								

主 な 取 り 組 み

取り組み①	公共施設マネジメントの推進				
説明	・ 行財政改革基本方針において、公共施設マネジメントの取り組みを位置づけ、将来の財政状況を勘案した上で、人口減少、少子高齢化の進展等による公共施設等の利用需要の変化に対応した公共施設のあり方の検討を進める。 ・ 計画的な予防保全型の修繕・更新の実施によるライフサイクルコストの縮減及び施設の長寿命化を図る。 ・ 更新に当たっては、既存施設の集約化・複合化・転用を基本とし、全体としての延床面積を減少させる。				
2025年度 実施内容	・ 逗子市公共施設整備計画（第1期実施計画）をはじめとする各個別施設計画に基づき、公共施設等の整備事業を行った。 ・ 令和6年4月に「逗子市の公共施設整備等に関する協定」を締結したミーズ設計連合協同組合（三浦半島を活動地域とする一級建築士事務所で構成する官公需適格組合）と「逗子市公共施設整備計画進行管理支援業務委託契約」を締結し、整備対象施設の現状把握、公共施設整備等に関する定例相談及び個別施設の整備等に関する継続的な相談・支援の支援を受けた。 ・ 逗子市公共施設整備計画（第1期実施計画）の改定に向け、行財政改革推進本部に公共施設集約化等検討部会を設け、公共施設集約化等についての検討や次期改定に向けた骨子の検討を行った。				
【参考】予算事業名	行財政改革推進事業	【参考】実績額	576,893円	担当課	総務課
取り組み②	東逗子地域の活性化をめざしたJR東逗子駅前複合施設整備事業の推進				
説明	・ JR東逗子駅前の旧国鉄清算事業団用地を有効活用して、公共施設を集約し複合施設として整備することで、駅周辺の快適性、利便性の向上及び地域の活性化を図る。				
2025年度 実施内容	・ 複合施設の機能の確保を基本としつつ、事業費の圧縮に向けた事業の見直しの検討を行った。 ・ 整備する複合施設諸室の一部見直しによる事業費の圧縮は一定程度見込まれるものの、物価及び資材の高騰等が続いている社会情勢や、そうした社会情勢の中で、老朽化の進む浄水管理センター再整備などの大型公共施設整備が見込まれる状況に鑑みて、当分の間、本事業を休止。				
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—	担当課	企画課

具体的施策	② バリアフリーのまちづくりの推進							
KPI	金沢新道踏切について改良工事が完了している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
協議中	協議中	改良設計完了	JRによる改良工事開始					改良工事完了
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
予定通りJRによる改良工事に着手しており、順調である。								
今後の対応								
令和7年度に引き続き、JRによる改良工事を進めていく。								

主な取り組み

取り組み①	無電柱化の推進				
説明	・歩行空間のバリアフリー化とともに、景観上の観点からも幹線市道の無電柱化を推進する。				
2025年度 実施内容	神奈川県において災害対応力の強化、安全・円滑な交通確保、景観形成の3つの観点から取り組んでいる道路の無電柱化について、県および県内市町村が連携して推進することを目的に「神奈川県無電柱化推進会議」を立ち上げ、将来的な事業予定箇所として、なぎさ通り及び逗子55号を抽出した。				
【参考】予算事業名	道路改良事業	【参考】実績額	23,056,810円	担当課	都市整備課

取り組み②	市道のバリアフリー化の推進				
説明	・2003年（平成15年）に策定した「逗子市交通バリアフリー基本構想」に基づき、市道のバリアフリー化を行う。				
2025年度 実施内容	市役所前の神武寺第4踏切が特定道路となっており、踏切道改良促進法に基づき誘導表示の設置を行った。				
【参考】予算事業名	道路改良事業	【参考】実績額	23,056,810円	担当課	都市整備課

取り組み③	国・県道のバリアフリー化の推進				
説明	・歩道が狭い県道について、無電柱化の検討も含め、神奈川県へバリアフリー化を行うよう要望する。 ・金沢新道踏切の改良について神奈川県へ要望を行い、バリアフリー化を推進する。				
2025年度 実施内容	県道については、引き続き神奈川県に歩道の拡幅等の要望を行っている。 金沢新道踏切についてはJRによる改良工事に着手した。				
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—	担当課	都市整備課

取り組み④	市民協働による公共施設のバリアフリー化の推進				
説明	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れたバリアフリー化を図るため、公共施設整備バリアフリー懇話会にて意見聴取を行い、障がい者や高齢者などが公共施設を安全かつ快適に利用できるよう整備を進める。 ・特に避難施設については、積極的にバリアフリー化を進めていく。				
2025年度 実施内容	逗子市消防署北分署建替工事について、バリアフリー懇話会を1回開催した。				
【参考】予算事業名	障がい者の住みよいまちづくり推進事業	【参考】実績額	478,954円	担当課	障がい福祉課

具体的施策	③ 都市環境の改善							
KPI	防災工事費助成件数が中期実施計画期間中累計で182件になっている。							
2015.4～2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
81件	15件	25件	43件					182件
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
令和7年度は広報等で周知を行ったことや集中豪雨があった影響で、例年よりも相談が多く、補正予算にて増額するなど、実績としても過去2年間より多かった。								
今後の対応								
引き続き防災工事費助成を行うが、事業について広報等で周知を行い広く知ってもらうことで助成件数を増やしていきたい。								

主な取り組み

取り組み①	都市機能を整えるインフラの整備				
説明	・ 個別施設計画（舗装編）に基づき、計画的な舗装修繕工事を行う。 ・ 個別施設計画に基づかない道路についても、道路の状態により修繕を行う。 ・ 県道の拡幅等の整備について、国・県等関係機関に要請する。 ・ 県道24号の交通渋滞の緩和に向け、県に三浦半島中央道路の早期着工を要請する。 ・ 橋りょう長寿命化修繕計画及びトンネル長寿命化修繕計画に基づき、計画的な橋りょう及びトンネルの修繕工事を行う。				
2025年度 実施内容	・ 逗子55号、小坪44号外1、小坪201号及び小坪229号の道路舗装工事を実施した。 ・ 入会橋及び愛染橋の修繕工事を行った。 ・ 県道の拡幅については、引き続き神奈川県に要望を行った。				
【参考】予算事業名	道路舗装事業	【参考】実績額	97,594,380円	担当課	都市整備課
【参考】予算事業名	橋りょう長寿命化事業	【参考】実績額	4,188,800円	担当課	都市整備課
【参考】予算事業名	道路改良事業	【参考】実績額	-	担当課	都市整備課
取り組み②	道路アダプトプログラムの推進				
説明	・ 道路等里親制度を活用した市民協働による道路やポケットパーク等の美化活動を推進する。				
2025年度 実施内容	道路アダプト団体への花苗の配布を年2回行った。				
【参考】予算事業名	道路維持管理事業	【参考】実績額	24,146,548円	担当課	都市整備課

取り組み③	街路樹の計画的な管理			
説明	・道路等を通行する車両や歩行者の安全を確保するために、街路樹を適正に管理する。 ・老朽化した街路樹の多い地域では、植替計画を策定し、計画的な植え替えを行う。			
2025年度 実施内容	・街路樹維持管理業務委託にて、街路樹の維持管理を行った。 ・危険木伐採業務委託等を実施し、街路樹診断結果を元に30本の伐採を実施した。 ・ハイランドでは自治会と協議した上で20本の植え替えを実施した（累計40本）。 ・街路樹の簡易診断を774本行った。			
【参考】予算事業名	街路樹維持管理事業	【参考】実績額	46,741,851円	担当課 都市整備課
取り組み④	道路の拡幅や隅切り等の整備			
説明	・狭あい道路整備事業により、道路の拡幅や隅切り等の整備をする。 ・広報誌や特定行政庁の協力を得て、狭あい道路整備事業の啓発を図る。			
2025年度 実施内容	・申請件数 12件 合計272件 ・寄附延長約106m ・狭あい道路率65.43%			
【参考】予算事業名	狭あい道路整備事業	【参考】実績額	8,108,487円	担当課 都市整備課
取り組み⑤	長寿命化対策の実施			
説明	・ストックマネジメント計画に基づき、順次対策工事を実施する。			
2025年度 実施内容	逗子市公共下水道管路施設ストックマネジメント修繕・改築計画策定業務委託（2期）、令和7年度 逗子第五分区汚水管布設替工事を実施した。			
【参考】予算事業名	管路建設費	【参考】実績額	129,866,412円	担当課 下水道課
【参考】予算事業名	ポンプ場建設改良費	【参考】実績額	19,250,000円	担当課 下水道課
2025年度 実施内容	遠方監視制御装置改築実施設計他業務委託、第3系列ろ過設備改築工事（令和6・7年度2か年継続工事）、第1・2系列散気装置等改築工事（令和7・8年度2か年継続工事）を実施した。			
【参考】予算事業名	処理場建設改良費	【参考】実績額	776,690,582円	担当課 下水道課
取り組み⑥	地震対策の実施			
説明	・総合地震対策計画に基づき、順次対策工事を実施する。 ・地震・津波等で被害を受けた場合の下水道業務継続計画（下水道BCP）については、必要に応じて改訂を行う。			
2025年度 実施内容	令和7年度下水道管路施設耐震化工事を実施したが、試掘調査した結果、支障物件があり、年度内に完了することが出来ず、繰り越した。			
【参考】予算事業名	管路建設費	【参考】実績額	129,866,412円	担当課 下水道課
取り組み⑦	合流式下水道の改善			
説明	・合流式下水道を改善するため、久木ハイランド地区において雨水管渠等対策工事を順次実施し、更なる分流化を進める。			
2025年度 実施内容	逗子第5分区雨水渠整備工事を実施したが、試掘調査した結果、支障物件があり、年度内に完了することが出来ず、繰り越した。			
【参考】予算事業名	管路建設費	【参考】実績額	129,866,412円	担当課 下水道課
取り組み⑧	下水処理場等下水道施設の再整備に向けた調査・研究等			
説明	・持続可能な下水道事業を推進するため、将来像を見据え令和3年度に策定した浄水管理センター再整備基本構想のもと、引続き必要な調査・研究等を行う。			
2025年度 実施内容	・浄水管理センター再整備基本構想をブラッシュアップするとともに、日本下水道事業団に業務委託して水処理施設の耐震診断等を実施した。 ・下水処理場再整備の先進事例を視察し、実施計画や施設計画等を調査した。			
【参考】予算事業名	処理場建設改良費	【参考】実績額	776,690,582円	担当課 下水道課

取り組み⑨	道路沿いのがけ崩れ対策の推進				
説明	・民有地に関しては、土地所有者に倒木のおそれのある木の伐採や崩落のおそれのある斜面の法面保護工事等についての防災工事費助成制度や急傾斜地崩壊対策事業の説明をしながら、適正な維持管理を行うよう促す。 ・防災性の高いまちづくりを推進するために、ホームページや広報誌で啓発を図る。 ・自治会・町内会や住民自治協議会等と連携して危険箇所の把握や周知を図る。				
2025年度 実施内容	防災工事費助成を18件行った。				
【参考】予算事業名	防災工事助成事業	【参考】実績額	13,138,000円	担当課	都市整備課
取り組み⑩	市内の交通環境の改善				
説明	・JR逗子駅前公民連携プロジェクトに係る逗子市基本方針に基づき、交通渋滞の緩和や安全で安心な歩行空間の確保、回遊性の向上や滞留スペースの創出のための整備を行う。				
2025年度 実施内容	J R 逗子駅前の開発事業者と J R 逗子駅前公民連携プロジェクトに係る逗子市の基本方針に基づき協議を行い、特にJRの商業ビルについては、基本方針に沿って設計を行っていただいている状況。				
【参考】予算事業名	道路改良事業	【参考】実績額	23,056,810円	担当課	都市整備課

取り組みの方向	5 地域資源を生かした個性豊かなにぎわいのあるまち
市街地を囲むみどり豊かな山や青い海の逗子海岸や小坪漁港、これらの逗子の魅力を国内外に向けて発信し続け、人が集い、ふれあいの輪が広がり、地域のにぎわいが生まれるまちをつくります。 自然、文化、人という逗子の恵まれた地域資源を、磨き、つなぎ、生かすことにより、地域産業の活性化や個性豊かな産業の創出を図るとともに、住む人、働く人、訪れる人が一体となって、成熟した魅力あふれるまちをつくります。	

具体的施策	① 逗子海岸保全活用事業の推進							
KPI	海水浴客数が40万人になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
86,600人	220,200人	214,900人	245,200人					400,000人
進捗状況評価								
C：順調であるとみなせない								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・来場者数は2024年に比べて30,300人増加となった。これは、昨年は南海トラフ地震臨時情報の発表や、お盆や最終週に台風が発生したことにより、来場者が落ち込んだものの、2025年はそのような影響もなく、天候にも恵まれた日が多かったことによると思われる。 ・条例等ルールに基づいた安心安全な海水浴場の運営は概ね維持できているものの、事業者によるクラブ化に抵触する行為が行われるなど、ルール認識の甘さが見受けられるなどの課題もある。 ・海の家営業時間を試行的に21時閉店としたり、試行的イベントを実施し、ファミリービーチとして相応しい振興策となり得るのかを昨年に引き続き検証した。 ・また、市観光協会を中心とした実行委員会との協働により、逗子海岸に親しみ愛着を持ってもらうためのきっかけづくりを継続して取り組んでいる。特に「逗子海岸ウォーターパーク」は、27,533人と過去最多を大幅に超える利用者数となっており、ファミリービーチの推進に大きく貢献している。								
今後の対応								
・地域住民の生活環境や海水浴場の風紀を維持したうえで、ファミリービーチとしての魅力を高める取組を検討する。 ・検討にあたっては、引き続き試行的取組を実施し、検証を行う。								

主 な 取 り 組 み

取り組み①	安全で快適な海水浴場の運営							
説明	・ 条例に基づく市民、関係団体・機関との協議により、市としての海水浴場の対策を決定し実行する。 ・ 海水浴場安全対策の充実を図る。							
2025年度 実施内容	・ 逗子海水浴場の運営に関する検討会での検討・協議を踏まえてルールを策定し、海水浴場を運営した。 ・ マナーアップ警備員外国人通訳アドバイザーの配置や違反者への退場勧告を予告するルール周知啓発看板を設置するなど、周知啓発活動に取り組んだ。 ・ ルール違反や犯罪の抑止のために防犯カメラを設置して周知し、安全安心な利用を促した。 ・ 市観光協会を中心とした実行委員会と協働で、「逗子海岸ウォーターパーク」の開設や、「わっしょい逗子海岸」子ども向け体験イベントを開催し、逗子海岸に親しみ楽しむきっかけづくりに取り組んだ。							
【参考】予算事業名	海水浴場運営事業				【参考】実績額	33,153,975円	担当課	経済観光課

取り組み②	海水浴以外の海岸の活用の推進				
説明	・海水浴以外の逗子海岸の魅力を高めて情報発信する。 ・海岸の利用を促すイベント等を実施する。 ・逗子市観光協会を助成することで、観光客誘致に係る事業を推進し、更なる観光振興を図る。 ・海・浜のルール周知を行う。 ・マリンスポーツの普及を図る。				
2025年度 実施内容	・主な取組として、市観光協会を中心とした実行委員会と協働で、春先に「わっしょい逗子海岸」など子ども向け体験イベントを開催し、海水浴以外の逗子海岸の利用を促した。				
【参考】予算事業名	観光客誘致事業	【参考】実績額	595,446円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	逗子市観光協会助成事業	【参考】実績額	35,028,709円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	海水浴場運営事業	【参考】実績額	33,153,975円	担当課	経済観光課
取り組み③	【3-1再掲】国際環境認証ブルーフラッグの継続取得				
説明	・持続可能で良質な逗子海岸を維持するため、国際環境認証であるブルーフラッグの取得を継続し、市民向けに環境教育のイベント、講座等を実施する。 ・海洋プラスチックごみがもたらす環境への影響、プラスチック製品の使用の注意事項や使い捨て製品の使用を抑える行動を促す等の周知活動を行う。 ・海岸への排水・廃棄の禁止、海の家排水設備の整備促進など海を汚さない取り組みを行う。 ・養浜対策について県に要請する。 ・関係機関を通じ、国に対して養浜対策の技術的支援を要請する。				
2025年度 実施内容	・逗子海岸営業協同組合と協働で、4年連続で国際環境認証ブルーフラッグを取得した。 ・逗子小学校での出張授業などの環境教育プログラムを協働で実施し、12企画に約1,100人が参加した。 ・海岸への排水対策に向けて、調査研究を行なった。 ・養浜対策について、国及び県へ要望活動を行うことに加え、環境教育プログラムの実施や東京大学と連携した調査研究結果の共有を受けた。				
【参考】予算事業名	海水浴場運営事業	【参考】実績額	33,153,975円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	海浜美化推進事業	【参考】実績額	10,219,520円	担当課	経済観光課
取り組み④	【3-1再掲】逗子海岸美化活動の推進				
説明	・海岸利用者にごみ等の散乱防止を啓発するとともに、協力を得て美化活動の実施に努める。 ・アダプトプログラムによる海岸一斉清掃を実施する。				
2025年度 実施内容	・かながわ海岸美化財団による海岸清掃を99日実施した。（負担金及び一部委託） ・アダプトプログラムによる海岸一斉清掃を11回実施し、約700人が参加した。				
【参考】予算事業名	海水浴場運営事業	【参考】実績額	32,308,303円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	海浜美化推進事業	【参考】実績額	10,219,520円	担当課	経済観光課

具体的施策		② 商工業振興の推進						
KPI	逗子市商工会の会員数が、1,300人以上になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
1,206人	1,196人	1,201人	1,236人					1,300人以上
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・会員増強と会員間交流の促進に役員一同力を合わせて取組み、地域内で様々な協力協業の輪が広がり、脱退者より加入者が上回った。 ・また、商工会の創業支援事業により、加入者の半分以上が創業者である。								
今後の対応								
・市内事業者が商工会に加入することで、市内商工業事業者間の連携を促進し、市内商工業の活性化に寄与することから、加入数を維持、増加していくために、商工会と連携した事業者支援等に取り組んでいく。								

主な取り組み

取り組み①	逗子市商工会や市内商店街への支援				
説明	・ 商工業者支援に係る方策を計画的に進めるための基本的方向性を定め、商工業の活性化を図り、振興施策の具体化を図る。 ・ 物価高、人件費上昇等社会変化に応じた事業者への相談窓口の設置を支援する。 ・ 商工会と連携し、イベントの実施や周知等の活動を支援する。				
2025年度 実施内容	・ 逗子市商工会や市内商店街の取り組みを支援するための補助事業を実施した。 ・ 社会状況の変化に応じた事業者相談窓口の設置を支援するための補助事業を実施した。 ・ 物価高等により落ち込んだ市内の消費を喚起するために、商店街団体等が実施するイベント開催等の取り組みを支援するための補助事業を実施した。				
【参考】予算事業名	商工業振興事業	【参考】実績額	159,117円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	逗子市商工会助成事業	【参考】実績額	19,152,240円	担当課	経済観光課
取り組み②	地域産業の増収支援や地域資源開発に関する取り組み				
説明	・ 商工会と連携し、地場産品の認定や周知等の活動を支援する。				
2025年度 実施内容	・ 商工会による地場産品の認定や周知等の活動の取り組みを支援する補助事業を実施した。 ・ 商工会と連携し、地場産品をふるさと納税返礼品として認定し、周知PR活動を支援した。				
【参考】予算事業名	逗子市商工会助成事業	【参考】実績額	19,152,240円	担当課	経済観光課
取り組み③	ふるさと納税に関する取り組み				
説明	・ 商工会と連携し、ふるさと納税返礼品を推進する活動を支援する。 ・ ふるさと納税の電子ポイント返礼品や体験型返礼品を市内事業者と創出し、まちの魅力発信を行う。				
2025年度 実施内容	・ 商工会と連携し、新たな返礼品の開発や事業者の開拓を行った。 ・ 通常のモノの返礼品のみならず、コト消費を促進する体験利用券取扱店や電子ポイント返礼品加盟店の増加を図り、商工会と連携して、まちの魅力発信を行なった。				
【参考】予算事業名	逗子市商工会助成事業	【参考】実績額	19,152,240円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	観光客誘致事業	【参考】実績額	595,446円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	逗子市観光協会助成事業	【参考】実績額	35,028,709円	担当課	経済観光課

具体的施策	③ 小坪漁港を中心とした小坪海浜地域活性化の推進							
KPI	小坪漁業協同組合が観光等の組み合わせによる漁業体験等を事業として実施し、年間280人以上参加している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
60人	341人	308人	717人					280人以上
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・ 漁業に使わない時間帯や時期に漁師が操船する漁船を有効活用する「小坪漁師タクシー」の事業化に向けて、小型旅客船の法改正に伴う必要な装備及び手続等の支援を行うとともに、マルシェのイベントとの同時運航による定期運航や随時運航を支援した。 ・ 民間企業と小坪漁業協同組合や漁業者との連携を支援し、漁業体験イベントを複数回実施した。 ・ 2023年度に策定した小坪漁港海業振興計画<骨子>を基に、「小坪漁港の海業振興に関する検討会」で協議・検討を行い、「小坪漁港機能増進基本計画」（小坪漁港海業振興基本計画）を策定した。								
今後の対応								
・ 2026年度も引き続き新制度対応のための必要な支援を行うとともに、今後の航路拡大のための支援を行う。 ・ 漁業者と民間企業や市民団体等が連携し、漁業体験コンテンツの創出、自走化に向けた支援を行う。 ・ 「小坪漁港機能増進基本計画」（小坪漁港海業振興基本計画）に基づき、個別の漁業者との調整、漁業振興センター裏空地の舗装工事等を進める。								

主 な 取 り 組 み

取り組み①	小坪漁港活用・活性化（海業）の推進				
説明	・ 漁港の新たな活用及び活性化のために関係者の意見を踏まえた活性化と老朽化対策を加味した漁港整備を実施する。 ・ 漁業と観光等の組み合わせによる新たな事業の展開を支援する。 ・ 漁港付近に市民と生産者の交流をできる場を設け、地域住民の利便性の向上と新しいにぎわいの創出を図る。 ・ サザエ・アワビの稚貝放流や磯焼け対策など漁場整備を支援する。 ・ 地元漁獲物、加工品等のPRを行う。				
2025年度 実施内容	・ 「令和5年度小坪漁港海業振興計画＜骨子＞」を基に「小坪漁港の海業振興に関する検討会」において協議・検討し、「小坪漁港機能増進基本計画」（小坪漁港海業振興基本計画）を策定した。 ・ 小坪漁業協同組合が観光との組み合わせによる試行的取組を支援するための補助事業を実施した。 ・ 「小坪漁師タクシー」の実証実験を協働で行い、9日間の運航で187人が乗船した。（2日間は荒天等により中止） ・ 民間企業と漁業者が実施する漁業体験イベントに協力し、3企画55人の参加があった。 ・ 2024年度に漁業者及び民間企業と共同で受託した「かながわ海業モデル創出事業業務委託」を踏まえ、学校単位での漁業体験プログラム開発に継続的に取り組んだ。 ・ 漁業者や市民団体、市観光協会が漁港で開催するイベントの開催に協力し、7回約7,300人の来場があった。 ・ サザエ・アワビの稚貝放流に補助金を交付し、サザエ47,000個、アワビ5,000個が稚貝放流された。				
【参考】予算事業名	小坪漁港活用・活性化促進事業	【参考】実績額	3,723,227円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	水産業振興事業	【参考】実績額	6,674,738円	担当課	経済観光課
取り組み②	小坪海浜地域の活性化の推進				
説明	・ 小坪漁港の活用・活性化の取り組みと施設整備の状況を踏まえて、逗子マリーナ及び小坪マリーナを含む小坪漁港周辺一帯と連携を図り、小坪海浜地域の活性化に取り組む。				
2025年度 実施内容	・ 「令和5年度小坪漁港海業振興計画＜骨子＞」を基に「小坪漁港の海業振興に関する検討会」において協議・検討し、「小坪漁港機能増進基本計画」（小坪漁港海業振興基本計画）を策定した。				
【参考】予算事業名	小坪漁港活用・活性化促進事業	【参考】実績額	3,723,227円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	漁港施設維持管理事業	【参考】実績額	260,645円	担当課	経済観光課

具体的施策	④ 創業への支援							
KPI	創業支援事業計画に基づき、創業に至った者が中期実施計画期間中累計で50件になっている。							
2017.4～2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
22件	35件	50件	54件					50件
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・創業支援ネットワークとの連携して、対面、オンデマンドでの創業スクールの開催や市広報誌で特集記事を掲載するなど、市内での創業の機運づくりに力を入れて取り組んだ。								
今後の対応								
・今後も継続して、創業支援等事業計画に基づき、創業支援ネットワークとの連携を密にし、市内で創業したい人や創業まもない人へのきめ細かな支援や、創業希望者を掘り起こすための機運づくりに向けて、取り組みを推進していく。								

主 な 取 り 組 み

取り組み①	創業支援事業等の推進							
説明	・金融機関や商工会と連携している創業支援ネットワークを活用し、第二創業を含めた創業の準備から、融資、PRの場の提供等、創業から安定的な事業運営に至るまでの助言や支援を行う。 ・女性や若者も活躍できるような新たな産業などの創出に向けた支援策の調査・研究を行う。 ・事業承継を希望する中小企業者に対し、支援を行う。							
2025年度 実施内容	・創業支援ネットワークと連携し、対面、オンデマンドの創業スクールを開催し、136名の参加があった。 ・2023年1月から商工会が創業を考えている人や創業まもない人などへ貸出を始めたキッチンカー「走るチャレンジショップ ドリームキッチン」の運用にあたり、公用地を貸し出すなどの支援を行った。							
【参考】予算事業名	逗子市商工会助成事業				【参考】実績額	19,152,240円	担当課	経済観光課

具体的施策		⑤ 多様な働き手、柔軟な働き方の支援						
KPI	女性の個人市民税所得割課税額が14%増加している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
1,122,484千円	1,217,329千円	1,232,594千円	1,354,949千円					1,279,632千円 (14%増加)
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
本市では、35歳から39歳までの女性の労働力率が低く、その背景には子育てをする方の通勤の難しさ等があると考えられる。そこで、子育て等の理由により離職した女性が、自身のライフスタイルに合った働き方としてテレワーク就業をするためのスキルアップを図り、地域への定住促進や地域経済の活性化を図るため、逗子市女性のテレワーク支援を実施した。在宅ワークのスキルアップセミナーやキャリアカウンセリング、就業マッチングまでのプログラムを提供し、参加者の就業支援を行った。								
今後の対応								
引き続き、ライフスタイルに合った働き方のできる環境の創出、スキルの向上を図ることを検討・実施していく。								

主な取り組み

取り組み①	テレワーク等の推進に関する取り組み							
説明	・テレワーク等の推進を図る。							
2025年度 実施内容	子育て等の理由により一度離職した女性が、時間にとらわれず自宅で仕事ができるようにテレワークのスキルアップセミナーを開催する女性のテレワーク支援事業を実施し、テレワーク就業に向けて取り組んだ。							
【参考】予算事業名	—				【参考】実績額	—	担当課	企画課
取り組み②	女性の就労支援							
説明	・自分らしく働き、暮らしやすいまちをめざすため、ライフスタイルに合った働き方のできる環境の創出・スキルの向上等を図る。							
2025年度 実施内容	子どもを預けながら働くことができる環境の創出を目指して、保育的機能を有する事業所開設の支援を行ってきたが、2024年度からは、より柔軟な「女性の新しい働き方」として時間にとらわれず自宅で仕事ができるテレワーク就業に向けたスキルアップセミナーを開催する女性のテレワーク支援事業を実施し、女性の就業支援を行った。 2024年度はオンラインのみのセミナーだったが、2025年度は逗子市商工会との連携により地域で活躍するロールモデルとなる女性による講演会を対面形式で実施した。対面形式の講座は多くの参加者から好評を得られ、自分らしく働くことの棚卸等を通じ、参加者同士のコミュニティの中で逗子市内で暮らしながら自分らしく働くことを目指すモチベーションの増加に寄与した。							
【参考】予算事業名	関係法人等創出事業				【参考】実績額	3,497,249円	担当課	企画課
取り組み③	就労等に関する情報の提供							
説明	・公共職業安定所や神奈川県からの就労等に関する情報を提供する。							
2025年度 実施内容	・公共職業安定所や神奈川県からの就労等に関する情報について、公共施設でチラシ等を配架した。							
【参考】予算事業名	—				【参考】実績額	—	担当課	経済観光課

具体的施策	⑥ 観光振興の推進							
KPI	入込観光客数が105万人/年になっている。							
2021年	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
589,042人	852,889人	839,521人	832,274人					1,050,000人
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・コロナ禍が落ち着いたことでイベントが再開され、新たなイベントも開催されたが、天候によりNIGHT WAVE等が中止となったため、入込観光客数が減少した。								
今後の対応								
・市民との協働でのまちの魅力向上の取り組みを推進するとともに、国や民間財団等の補助金の活用を検討するなどにより、既存の取り組みの継続や新たな取り組みの創出を図っていく。								

主 な 取 り 組 み

取り組み①	逗子市観光協会への助成					
説明	・ 逗子市観光協会と連携し、逗子の身近な自然や歴史・文化の魅力を発見するイベントを市民や市民団体と企画・実施する ・ 逗子市観光協会と連携し、逗子市の認知度と、まちの魅力を高め集客力の向上と地域の活性化を図る ・ 逗子市観光協会への支援を行う。					
2025年度 実施内容	・ 市観光協会や実行委員会と連携し、逗子海岸保全活用事業として、子ども向け体験イベント「わっしょい逗子海岸」などのイベントを実施し、まちの魅力向上と愛着醸成につなげた。 ・ 市観光協会と共催で逗子海岸花火大会を開催し、約10万人の来場があり、まちの認知度向上と魅力発信につなげた。					
【参考】予算事業名	観光客誘致事業	【参考】実績額	595,446円	担当課	経済観光課	
【参考】予算事業名	逗子市観光協会助成事業	【参考】実績額	35,028,709円	担当課	経済観光課	
取り組み②	逗子の魅力向上事業の推進					
説明	・ 逗子の身近な自然や歴史・文化の魅力を発見するイベントを市民や市民団体と企画・実施する。 ・ 逗子の特徴を生かし、市民と来訪者が「また訪れたい」「いつか訪れたい」から「住みたい」気持ちになるように、異なる季節や場所にて楽しめる観光をホームページ、案内板及びイベント等を通じて紹介する。					
2025年度 実施内容	・ 市観光協会を中心とした実行委員会と協働で、魅力発信の情報発信に加えて、逗子旅＋プロジェクト事業を行い、自然や歴史・文化を発見するイベントを開催し、4企画698人の参加があった。					
【参考】予算事業名	観光客誘致事業	【参考】実績額	595,446円	担当課	経済観光課	
【参考】予算事業名	逗子市観光協会助成事業	【参考】実績額	35,028,709円	担当課	経済観光課	

取り組み③	観光情報発信の充実				
説明	・多種多様な媒体を活用として、逗子市の認知度と、まちの魅力を高め、集客力の向上と地域の活性化を図る。 ・逗子の特徴を生かし、市民と来訪者が「また訪れたい」「いつか訪れたい」から「住みたい」気持ちになるように、異なる季節や場所にて楽しめる観光をホームページ、案内板及びイベント等を通じて紹介する。 ・県及び近隣各市町と連携し、観光客の誘致を行う。				
2025年度 実施内容	・逗子市観光協会と連携し、まちの認知度と魅力を高めるためにウェブを中心とした情報発信を行なった。 ・フィルムコミッションとしてまちの魅力の向上につながる撮影に協力支援し、市内で103件の撮影があった。				
【参考】予算事業名	観光客誘致事業	【参考】実績額	595,446円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	逗子市観光協会助成事業	【参考】実績額	35,028,709円	担当課	経済観光課
取り組み④	【再掲】ふるさと納税に関する取り組み				
説明	・商工会と連携し、ふるさと納税返礼品を推進する活動を支援する。 ・ふるさと納税の電子ポイント返礼品や体験型返礼品を市内事業者と創出し、まちの魅力発信を行う。				
2025年度 実施内容	・商工会と連携し、新たな返礼品の開発や事業者の開拓を行った。 ・通常のモノの返礼品のみならず、コト消費を促進する体験利用券取扱店や電子ポイント返礼品加盟店の増加を図り、商工会と連携して、まちの魅力発信を行なった。				
【参考】予算事業名	逗子市商工会助成事業	【参考】実績額	19,152,240円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	観光客誘致事業	【参考】実績額	595,446円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	逗子市観光協会助成事業	【参考】実績額	35,028,709円	担当課	経済観光課
取り組み⑤	逗子市広報大使による発信				
説明	・逗子にゆかりがあり、様々な分野で活躍されている方による、逗子の魅力や情報の発信を行う。				
2025年度 実施内容	各広報大使の活動において、広く魅力を発信した。				
【参考】予算事業名	広聴広報事務費	【参考】実績額	2,791,863円	担当課	企画課